

2026年度 入学試験要項

総合型選抜（自己推薦制）

目 次

● 入学試験要項	1
● 出願資格について	21
● 二次選考の出願について	22
● 受験票の印刷・受験番号照会	24
● 入学試験結果の照会	25
● 受験ポータルサイト UCARO [®] について	26
● 入学試験共通の確認事項	⑧-1

※本入学試験要項に掲載されている看護学部看護学科は2026年4月設置届出中（2025年6月現在）

【総合型選抜（自己推薦制）の流れ】

- 一次選考出願 2025年9月1日（月）～9月5日（金）
検定料 10,000円
提出された課題等をもとに、一次選考を実施します。
↓
 - 一次選考結果発表 2025年9月26日（金）
合格者には、一次選考合格通知とともに二次選考案内を発送します。
↓
 - 二次選考出願 2025年10月3日（金）～10月9日（木）
検定料 25,000円
↓
 - 二次選考 2025年10月25日（土）
↓
 - 二次選考結果発表 2025年11月4日（火）
- * 総合型選抜（自己推薦制）は専願制です。
二次選考に合格された場合は、必ず入学することを前提とした入学試験です。

天候や感染症拡大等の影響により、入試日程・合格発表日等を変更する場合があります。受験の前には必ず本学WEBサイトを確認してください。

入学試験要項

同一出願期間の入試種別について、複数出願することはできません。

■ 制 度

専願制（合格すれば必ず入学することを前提とする）の入学試験制度です。

■ 出願資格

以下①②を満たす者

①次の(1)～(3)のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込の者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込の者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込の者

②各学科の定める「学習成績の状況」基準を満たす者（上記①(1)の場合）

■ 出願方式

以下のどちらかの方式を選択して出願してください。

※社会学部公共政策学科への出願は【探究・活動方式】のみとなります。

【学科独自方式】

各学科の定める条件を満たしているかを選考する方式（詳細はP.3以降を参照）

【探究・活動方式】

高等学校在籍中における探究学習や諸活動（部活動やボランティア活動、地域活動など）での成果を活かし、大学入学後の学修との関係を捉えているかを選考する方式

※【探究・活動方式】にて出願する場合は、「学習・活動成果報告書」を必ず提出すること。

■ 入学定員

学 部	学 科	入学定員
仏 教	仏 教	10名
文	日 本 文	15名
	中 国	7名
	英 米	10名
歴 史	歴 史	13名
	歴 史 文 化	10名
教 育	教 育	15名
	幼 児 教 育	10名
	臨 床 心 理	10名
社 会	現 代 社 会	20名
	公 共 政 策	15名
社 会 福 祉	社 会 福 祉	30名
保 健 医 療 技 術	理 学 療 法	5名
	作 業 療 法	6名
看 護*	看 護	9名

得点状況等により、入学定員が充足しない場合があります。

※設置届出中

■ 出願期間・試験日

【一次選考】

出願期間 2025年9月1日（月）～9月5日（金）＜必着＞

提出書類を佛教大学入学部へ郵送してください（P. 19 参照）。

同一出願期間の入試種別について、複数出願することはできません。

【二次選考】

出 願 期 間	試 験 日
2025年10月3日（金）～10月9日（木）※	2025年10月25日（土）

※書類提出は締切日までの消印有効です。

・二次選考の出願は、WEB 出願サイトにて出願内容を登録してください（P. 22 参照）。

■ 二次選考 試験科目・時間割・試験会場

選考内容は、次頁以降の各学科の定める事項を参照してください。

学 科	10：00～	12：30～順次	試 験 会 場
仏 教	プレゼンテーション（面接含む）	面接※ ²	佛教大学 紫野キャンパス
日 本 文	基礎能力試験 [国語]（小論文を含む）		
中 国	小論文		
英 米※ ¹	英作文（英語基礎力含む）		
歴 史	小論文		
歴 史 文 化	小論文		
教 育	グループディスカッション		
幼 児 教 育	小論文		
臨 床 心 理	小論文		
現 代 社 会	小論文		
公 共 政 策	小論文		
社 会 福 祉	模擬授業の受講 グループディスカッション		
理 学 療 法	小論文		
作 業 療 法	グループワーク		
看 護	小論文		

※¹ 英米学科の面接は英語を含む場合があります。

※² 面接は1名の受験生に対して複数の面接担当者が実施します。

■ 各学科の定める事項

仏教学部 仏教学科

求める人物像

Ⓖ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が2.7以上の者

出願方式

【学科独自方式】 ※以下のいずれかを満たす必要があります。

⑦浄土宗寺院の子弟または檀信徒として仏教および浄土宗義に興味を持ち、本学の課程において浄土宗教師資格を取得し、浄土宗僧侶となる意思がある者(但し、合格した場合、入学までに僧籍登録を完了する必要があります。また、1年次に浄土宗教師資格課程に登録し、道場に入行することを原則とします。)

※特別な事情があると大学が認めた場合はその限りではありません。事前相談なく不行しない場合は、合格を取り消す場合があります。

④仏教、もしくは仏教に関連する文化に、深い関心と興味を持ち、入学後の学びについて具体的な考えを持つ者

【探究・活動方式】

詳細はP. 1を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【**本学所定用紙**】を貼付して郵送してください。

①調査書

詳細はP. 19を参照

②自己推薦書【**本学所定用紙**】

③出願資格申告書【**本学所定用紙**】

④課題レポート【**本学所定用紙**】(学科指定) ※【**学科独自方式**】にて出願する場合のみ

⑤入金確認書類

・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。

⑥学習・活動成果報告書【**本学所定用紙**】 ※【**探究・活動方式**】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

- ・両方式とも求める人物像の視点に基づいて判断します。
- ・学科独自方式⑦：浄土宗僧侶の理想像を具体的に記述してください。
- ・学科独自方式④：入学後、何を研究したいのか具体的に記述してください。
- ・探究・活動方式：探究・活動の実績と学修についてを具体的に記述してください。

[二次選考] プレゼンテーション(面接含む)

[二次選考ポイント]

・プレゼンテーション

一次選考で記述した事柄について、資料やパネル等を使って、面接者に分かりやすく伝えてください(5分程度)。

PC等の機材の使用はできません。また、面接者に資料を配布する場合は、5部準備ください。ただし、配布した資料を含め、使用した資料は全てお持ち帰りください。

・面接

プレゼンテーションに基づき、質問しますので回答してください。

文学部 日本文学科

求める人物像

Ⓖ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.3以上の者

出願方式

【学科独自方式】 ※以下のいずれかを満たす必要があります。

- ⑦日本語または日本文学に関する学内外での口頭または文書での研究発表
- ⑧創作した文芸作品の各種コンクール受賞、または商業出版
- ⑨書道に関する全国公募展レベルでの受賞
- ⑩外国語ネイティブの人々を対象とした日本語教育のボランティア活動への参加

【探究・活動方式】

詳細は P. 1 を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

- ①調査書
詳細は P. 19 を参照
- ②自己推薦書【本学所定用紙】
- ③出願資格申告書【本学所定用紙】
- ④資格取得・活動の実績を証明する書類【本学所定用紙】 ※【学科独自方式】にて出願する場合のみ
- ⑤入金確認書類
・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。
- ⑥学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB 出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

- ・提出された書類・作品等を、求める人物像の視点に基づいて判断します。
- ・能力・意欲・創造性などを重視します。
- ・出願方式に関する活動が、いかに充実しているかを見ます。

[二次選考] 基礎能力試験〔国語〕(小論文を含む)／面接

[二次選考ポイント]

- ・基礎能力試験〔国語〕(小論文を含む)は、試験問題に出願された文章(評論2500字程度)を読んだ上で解答していただきます。
- ・提出された書類・作品等について求める人物像の視点から質問します。
- ・問われたことに対して、適切に答えられるかを見ます。
- ・一次選考を含め、総合的に判断します。

文学部 中国学科

求める人物像

㊦ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで（卒業者については高等学校第3学年3学期末まで）の国語あるいは英語の「学習成績の状況」（評定平均値）が3.5以上の者

出願方式

【学科独自方式】

㊦ HSK [中国政府公認資格] 検定4級以上、あるいは中国語検定3級以上の者

【探究・活動方式】

詳細は P. 1 を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

①調査書

詳細は P. 19 を参照

②自己推薦書【本学所定用紙】

③出願資格申告書【本学所定用紙】

④資格取得・活動の実績を証明する書類【本学所定用紙】 ※【学科独自方式】にて出願する場合のみ

⑤入金確認書類

・入金が確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。

⑥学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB 出願による手続きが必要です（提出書類はありません）。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

・自己の考えを自己推薦書に抽象的でなく、具体的に書いていること。

[二次選考] 小論文 / 面接

[二次選考ポイント]

・提出書類に書かれたことに関して尋ねますので、自己の考えをきちんと述べてください。

・【学科独自方式】で出願した場合、中国語の会話を含んで面接します。

文学部 英米学科

求める人物像

Ⓖ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が2.7以上の者

出願方式

【学科独自方式】 ※以下のいずれかを満たす必要があります。

- ⑦以下のいずれかの高い英語力を有する者
 - ・「英語の学習成績の状況」(設定平均値) 3.5 以上
 - ・TOEIC® (Listening & Reading) 500 点以上
 - ・TOEFL (PBT460 点以上、iBT48 点以上)
 - ・実用英語技能検定(英検®) 2 級以上
- ①英語圏での留学経験を持つ者(英語圏の高等学校卒業資格、日本の高等学校在学中に英語圏の高等学校への1年以上の留学経験)
- ②英語圏への留学に強い意欲があり、具体的な目標や計画を持っている者

【探究・活動方式】

詳細は P. 1 を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

- ①調査書
 - 詳細は P. 19 を参照
- ②自己推薦書【本学所定用紙】
- ③出願資格申告書【本学所定用紙】
- ④課題レポート【本学所定用紙】(学科指定)
- ⑤資格取得・活動の実績を証明する書類【本学所定用紙】 ※【学科独自方式】にて出願する場合のみ(出願条件⑦については「英語圏への留学に対する意欲と、具体的な目標や計画について書かれたもの」を提出すること)
- ⑥入金確認書類
 - ・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。
- ⑦学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB 出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

1. 自己推薦書
 - ・段落分けをきちんとすること。
 - ・自分が今まで何に興味を持ち、どんな活動を行ってきたか明確にすること。
2. 課題レポート(日本語・3000字以内)
 - ・誤字、脱字がないようにすること。
 - ・各段落の最初は1文字「字下げ」すること。
 - ・自分の主張を明確にすること。

[二次選考] 英作文(英語基礎力含む) / 面接 ※英語を含む場合あり

[二次選考ポイント]

- ・10 題程度の英問英答形式の出題と、英作文(知っている英語を使い、与えられたテーマについて自由に表現できること。100 語程度)を出題する。
- ・積極的に自分の意見を伝えることができる。
- ・知っている英語を使って、沈黙することなく、コミュニケーションを行えること。

歴史学部 歴史学科

求める人物像

⑥ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.6以上であり、かつ地歴科目が4.0以上の者

出願方式

【学科独自方式】

⑦ 歴史学部および歴史学科の人材養成の目的(教育研究上の目的など)、アドミッション・ポリシーを十分に理解し歴史学科で学びたいという強い意志を持つ者

【探究・活動方式】

詳細は P. 1 を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

① 調査書

詳細は P. 19 を参照

② 自己推薦書【本学所定用紙】

③ 出願資格申告書【本学所定用紙】

④ 入金確認書類

・ 入金が確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。

⑤ 学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB 出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

出願書類をもとに、求める人物像の内容について確認するほか、「自己推薦書」の内容によって選考します。

「自己推薦書」は求める人物像についての記述をよく読み、大学に入って学びたい内容について、これまで書籍やウェブ、資料などを使ってどのようなことに取り組んできたのか、調べた内容をまとめたうえで提出してください。

「学習・活動成果報告書」はこれまで取り組んだ歴史に関する探求学習・活動について記述してください。

[二次選考] 小論文 / 面接

[二次選考ポイント]

当日出題される課題について記述する小論文と、複数の面接担当者による面接によって選考します。

歴史学部 歴史文化学科

求める人物像

㊦ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.6以上であり、かつ地歴科目が4.0以上の者

出願方式

【学科独自方式】

㊦歴史学部および歴史文化学科の人材養成の目的(教育研究上の目的など)、アドミッション・ポリシーを十分に理解し歴史文化学科で学びたいという強い意志を持つ者

【探究・活動方式】

詳細はP. 1を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

①調査書

詳細はP. 19を参照

②自己推薦書【本学所定用紙】

③出願資格申告書【本学所定用紙】

④入金確認書類

・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。

⑤学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

出願書類をもとに、求める人物像の内容について確認するほか、「自己推薦書」の内容によって選考します。

「自己推薦書」は求める人物像についての記述をよく読み、大学に入って学びたい内容について、これまで書籍やウェブ、資料などを使ってどのようなことに取り組んできたのか、調べた内容をまとめたうえで提出してください。

「学習・活動成果報告書」はこれまで取り組んだ歴史・文化に関する探求学習・活動について記述してください。

[二次選考] 小論文 / 面接

[二次選考ポイント]

当日出題される課題について記述する小論文と、複数の面接担当者による面接によって選考します。

教育学部 教育学科

求める人物像

Ⓔ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.6以上の者

出願方式

【学科独自方式】 ※以下のいずれかを満たす必要があります。

- ㉞ 実用英語技能検定(英検)2級以上
- ㉟ TOEIC (Listening & Reading Test) 450点以上
- ㊱ TOEFL PBT 450点以上
- ㊲ TOEFL CBT 133点以上
- ㊳ TOEFL iBT 45点以上
- ㊴ 国連英検 B級以上
- ㊵ 数学検定2級以上
- ㊶ 算数・数学思考力検定(国際算数・数学能力検定)2級以上
- ㊷ 「数学Ⅰ・A」および「数学Ⅱ・B」の学習成績の状況(評定平均値)の平均が4.2以上
- ㊸ 数学Ⅲを履修しており、「数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C」の学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上
- ㊹ 中学校・高等学校時に延べ1年以上の海外(国・地域を問わない)での留学経験

【探究・活動方式】

詳細はP. 1を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【**本学所定用紙**】を貼付して郵送してください。

- ① 調査書
詳細はP. 19を参照
- ② 自己推薦書【**本学所定用紙**】
- ③ 出願資格申告書【**本学所定用紙**】
- ④ 課題レポート【**本学所定用紙**】(学科指定)
- ⑤ 資格取得・活動の実績を証明する書類【**本学所定用紙**】 ※【**学科独自方式**】にて出願する場合のみ(出願条件㉞㉟の場合は不要)
- ⑥ 入金確認書類
・ 入金が確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。
- ⑦ 学習・活動成果報告書【**本学所定用紙**】 ※【**探究・活動方式**】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

<次頁に続く>

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

- ・自己推薦書には次の2点を含めて記入してください。
「志望理由」：あなたが教育学科の求める人物像に合致しているかどうかを示しながら、志望理由を具体的に記してください。「志望理由の明確さ」「求める人物像との一致」の観点で評価します。
「自己推薦理由」：あなたがこれまで努力してきたことや自分のアピールポイントを記してください。「自身自身の捉え方の客観性・論理性」の観点で評価します。
- ・課題レポートは、「これまでの自身の学びや経験を、教育活動にどのように活かせるか」について論述してください。「思考力・表現力・論理性・求める人物像との一致」の観点で評価します。

[二次選考] グループディスカッション / 面接

[二次選考ポイント]

- ・グループディスカッションは、担当者がテーマとそれに関連する資料を提示し、受験生が資料を読んだ上でグループごとに議論します。議論の時間は、30分程度です。その後受験生は議論の内容を踏まえてテーマに対する自身の考えを用紙に記入します。求める人物像の観点で評価します。
- ・面接は、複数の面接担当者にて行います。自己推薦書・その他提出書類をもとに、求める人物像の観点で評価します。

教育学部 幼児教育学科

求める人物像

Ⓖ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.6以上の者

出願方式

【学科独自方式】

⑦教育学部および幼児教育学科の人材養成の目的(教育研究上の目的など)、アドミッション・ポリシーを十分理解し幼児教育学科で学びたいという強い意志を持つ者

【探究・活動方式】

詳細はP. 1を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【**本学所定用紙**】を貼付して郵送してください。

①調査書

詳細はP. 19を参照

②自己推薦書【**本学所定用紙**】

③出願資格申告書【**本学所定用紙**】

④課題レポート【**本学所定用紙**】(学科指定)

⑤入金確認書類

・入金が確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。

⑥学習・活動成果報告書【**本学所定用紙**】 ※【**探究・活動方式**】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

・自己推薦書には次の2点を含めて記入してください。

「志望理由」:あなたが幼児教育学科の求める人物像に合致しているかどうかを示しながら、志望理由を具体的に記述してください。「志望理由の明確さ」「求める人物像との一致」の観点で評価します。

「自己推薦理由」:あなたがこれまで努力してきたことや自分のアピールポイントを記述してください。「自分自身の捉え方の客観性・論理性」の観点で評価します。

・課題レポートは、「これまでの自身の学びや経験を、幼児教育・保育活動にどのように活かせるのか」について論述してください。「思考力・表現力・論理性」の観点で評価します。

[二次選考] 小論文 / 面接

[二次選考ポイント]

・小論文は、「問題の理解力・思考力・表現力・論理性」の観点で評価します。

・面接は、複数の面接担当者にて行います。自己推薦書をもとに、求める人物像の観点で評価します。

教育学部 臨床心理学科

求める人物像

⑥ P.6以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.6以上の者

出願方式

【学科独自方式】 ※以下のいずれかを満たす必要があります。

⑦自己のパーソナリティと人間社会の心理的側面に深い関心を持つ者

⑧現在までに、特定の課外活動に継続して取り組んだ経験から、自己の心理的成長を明確に把握できる者

【探究・活動方式】

詳細はP.1を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

①調査書

詳細はP.19を参照

②自己推薦書【本学所定用紙】

③出願資格申告書【本学所定用紙】

④入金確認書類

・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp.19～20)を確認してください。

⑤学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

・自己推薦書は、あなたがこれまでに努力してきたことや自分のアピールポイントを記述してください。「自身自身の捉え方の客観性・論理性」の観点で評価します。

[二次選考] 小論文 / 面接

[二次選考ポイント]

・面接担当者2名、受験生1名の個別面接を実施します。時間は10分程度です。

自己推薦書をもとに、「臨床心理学を学ぶ姿勢」を有しているかを評価します。

社会学部 現代社会学科

求める人物像

Ⓖ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.0以上の者

出願方式

【学科独自方式】 ※以下のいずれかを満たす必要があります。

- ⑦ ボランティア活動などを通じた社会、地域への貢献の実績がある者
- ① 文化・芸術等の課外活動において優れた実績がある者

【探究・活動方式】

詳細は P. 1 を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

- ① 調査書
詳細は P. 19 を参照
- ② 自己推薦書【本学所定用紙】
- ③ 出願資格申告書【本学所定用紙】
- ④ 課題レポート【本学所定用紙】(学科指定)
- ⑤ 資格取得・活動の実績を証明する書類【本学所定用紙】 ※【学科独自方式】にて出願し、活動実績がある場合のみ
- ⑥ 入金確認書類
・ 入金が確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。
- ⑦ 学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB 出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

- ・ 自己推薦書において求める人物像に適合していることが具体的に示されているか。現代社会学科を志望する明確な理由が示されているか。
- ・ 課題レポートにおいて取り上げた社会問題についての記述内容は具体的かつ論理的で説得力があるか。記述は適正か。

[二次選考] 小論文／面接

[二次選考ポイント]

面接担当者2名、受験者1名による質疑応答を行い、以下の観点から総合的に評価します。

- ・ 自己推薦書をふまえ、求める人物像に適合しているか。
- ・ 当日作成する小論文の記述内容をふまえ、問題の理解力、論理的思考力、及び表現力をそなえているか。
- ・ 小論文は面接時の資料として使用するとともに、評価の対象になります。

社会学部 公共政策学科

求める人物像

④ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.0以上の者

出願方式

【探究・活動方式】

詳細はP. 1を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

①調査書

詳細はP. 19を参照

②自己推薦書【本学所定用紙】

③出願資格申告書【本学所定用紙】

④課題レポート【本学所定用紙】(学科指定)

⑤入金確認書類

・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。

⑥学習・活動成果報告書【本学所定用紙】

[二次選考]

WEB出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

- ・自己推薦書において求める人物像に適合していることが具体的に示されているか。公共政策学科を志望する明確な理由が示されているか。
- ・課題レポートにおいて、取り上げた課題について多角的に調べているか。
- ・記述は適正か。具体的かつ論理的で説得力があるか。

[二次選考] 小論文 / 面接

[二次選考ポイント]

面接担当者2名、受験者1名による質疑応答を行い、以下の観点から総合的に評価します。

- ・自己推薦書をふまえ、求める人物像に適合しているか。
- ・当日作成する小論文の記述内容をふまえ、問題の理解力、論理的思考、及び表現力をそなえているか。
- ・小論文は面接時の資料として使用するとともに、評価の対象になります。

社会福祉学部 社会福祉学科

求める人物像

Ⓔ P.6以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.0以上の者

出願方式

【学科独自方式】

⑦社会福祉学部の人材養成の目的(教育研究上の目的など)、アドミッション・ポリシーを十分に理解し、社会福祉学部で学びたいという強い意志を持つ者

【探究・活動方式】

詳細はP.1を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

①調査書

詳細はP.19を参照

②自己推薦書【本学所定用紙】

③出願資格申告書【本学所定用紙】

④課題レポート【本学所定用紙】(学科指定)

※課題は2題出題

⑤入金確認書類

・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp.19～20)を確認してください。

⑥学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

- ・第1課題は、課題図書『新・大学でなにを学ぶか』(上田紀行編著・岩波ジュニア新書)[税込1,034円]に収められた各章のテーマのうち、a)池上彰、b)國分功一郎、c)中島岳志、d)山崎太郎のテーマのいずれか一つを選んでよく読み、あなたは大学で何を学びたいのか、そのことが自分の成長や将来にどんな意義をもっていると考えているのかについて述べてください。文章を上手に書くとか、なにかしつかりしたことを書こうとするのではなく、ありのまま、あなたが考えたことを書いてください。文章を読んで理解する力、それを自分の考えの参考にする力、自分の言葉で素直に考えを述べる力をみます。
- ・第2課題は、小説、詩、ルポルタージュ、評論などの本、あるいは写真集や映画、音楽、絵画などでもかまいませんので、なにか一つ、同年代の人に薦めたいものを選んで、推薦してください。文化を楽しみ自分を豊かにしようとする意欲をみます。

[二次選考] 模擬授業受講後、質疑応答・意見交換 / 面接

[二次選考ポイント]

- ・試験日当日に30分程度の模擬授業を聞いてもらい、そのあとあるテーマについて話し合いをしてもらいます。自分の考えたことを述べようとする姿勢、人の話に耳を傾ける姿勢をみます。「話すことが上手」ということをみるものではありません。考えたことを率直に説明すること、人の話をよく聞く姿勢、そして人の話から学ぶ姿勢をもっていることをみます。また、社会のさまざまな問題に関心や疑問をもっているか、自分は社会のなかで生きているということを実感しているのかをみます。

保健医療技術学部 理学療法学科

求める人物像

㊦ P.6以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.8以上の者

出願方式

【学科独自方式】

㊦保健医療技術学部および理学療法学科の人材養成の目的(教育研究上の目的など)、アドミッション・ポリシーを十分に理解し、理学療法学科で学びたいという強い意志を持つ者

【探究・活動方式】

詳細はP.1を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

①調査書

詳細はP.19を参照

②自己推薦書【本学所定用紙】

③出願資格申告書【本学所定用紙】

④資格取得・活動の実績を証明する書類【本学所定用紙】 ※【学科独自方式】にて出願し、活動実績がある場合のみ

⑤入金確認書類

・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp.19～20)を確認してください。

⑥学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

・「自己推薦書」は自分の長所を具体的に述べるとともに、それが医療従事者(理学療法士)としてどのように活かされるのかを記述してください(志望理由を含めてください)。

[二次選考] 小論文 / 面接

[二次選考ポイント]

・小論文は二次選考当日に出題されるテーマについて自分自身の考えを記述してもらいます。内容がテーマに沿っているか、論理的であるか、読みやすいか、説得力があるかなどについて評価します。

・面接は自己推薦書やその他提出書類の記述内容と関連する事柄についてお聞きします。これら以外にいくつかの質問をし、その返答から思考力・判断力・表現力を評価します。

保健医療技術学部 作業療法学科

求める人物像

㊦ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.3以上の者

出願方式

【学科独自方式】 ※以下のいずれかを満たす必要があります。

次の㊦～㊨のいずれかの資格を有する者

- ㊦ガイドヘルパー(移動介護従事者)
- ㊧高齢者住まいアドバイザー検定
- ㊨ボランティアコーディネーション検定3級

【探究・活動方式】

詳細は P. 1 を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

- ①調査書
詳細は P. 19 を参照
- ②自己推薦書【本学所定用紙】
- ③出願資格申告書【本学所定用紙】
- ④資格取得・活動の実績を証明する書類【本学所定用紙】 ※【学科独自方式】にて出願する場合のみ
- ⑤入金確認書類
・入金が確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。
- ⑥学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB 出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

・「自己推薦書」は自分の長所を具体的に述べるとともに、それが医療従事者(作業療法士)としてどの様に活かされるのかを記述してください(志望理由を含めてください)。

[二次選考] グループワーク / 面接

[二次選考ポイント]

- ・グループワークは2～3人の小グループに分かれ、面接担当者の提示する身の回りにある課題をテーマとし、問題を明らかにし、その解決策を具体的に検討してもらいます。問題解決のために効果的なあり方を考え行動したかといった「思考力や創造性」、解決策をまとめるにあたり他者の話をよく聴き、他者の話から学ぶ姿勢があったかといった「協調性」、相手に伝わるよう話せたかといった「表現力」を複数の面接担当者により評価します。
- ・面接は、自己推薦書、その他提出書類を基に質問し、求める人物像の観点から複数の面接担当者により評価します。

看護学部 看護学科

求める人物像

㊦ P. 6 以降のアドミッション・ポリシーをご確認ください。

「学習成績の状況」基準

高等学校第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.8以上の者

出願方式

【学科独自方式】

㊦看護学部および看護学科の人材養成の目的(教育研究上の目的など)、アドミッション・ポリシーを十分に理解し、看護学科で学びたいという強い意志を持つ者

【探究・活動方式】

詳細はP. 1を参照してください。

出願書類

[一次選考]

以下の書類を市販の封筒に同封し、宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付して郵送してください。

①調査書

詳細はP. 19を参照

②自己推薦書【本学所定用紙】

③出願資格申告書【本学所定用紙】

④入金確認書類

・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「入学試験検定料」(pp. 19～20)を確認してください。

⑤学習・活動成果報告書【本学所定用紙】 ※【探究・活動方式】にて出願する場合のみ

[二次選考]

WEB出願による手続きが必要です(提出書類はありません)。

選考方法

[一次選考] 書類選考

[一次選考ポイント]

- ・ 紋切りでなく、自分自身で考えたことがうかがえる志望理由があること
- ・ 「自己推薦書」は自分の長所を具体的に述べるとともに、それが医療従事者(看護職)として、どの様に活かせるかを記述してください(志望理由を含めてください)

[二次選考] 小論文/面接

[二次選考ポイント]

- ・ 他者の考えを読み解いた上で、自分の考えを自分の言葉で表現することができること
- ・ 情報を活用し、論理的に考え判断しようという姿勢がうかがえること
- ・ 質問への答えから一定のコミュニケーション能力を持っていることがうかがえること
- ・ 医療福祉関連の報道等に関心を持っていることがうかがえること
- ・ 熱意をもって、志望動機を語れること

■ 出願について

- ① 本学所定用紙は、本学 WEB サイトの総合型選抜（自己推薦制）出願サイトの「提出書類」より「A4 サイズ」・「片面印刷」・「白紙」で出力してください。
- ② 書類提出の際は、日本郵便の「レターパックプラス」に宛名ラベル【本学所定用紙】を貼付し、出願期間内に必ず出願書類を送付してください。

URL : https://www.bukkyo-u.ac.jp/admission/self_recommendation/

一次選考出願について

- ① 各学科の出願書類【一次選考】(P.3～)を提出してください。
- ② 出願書類の調査書について
 - ・ 出願時に学校長が作成し厳封したもの（発行日より3か月以内のもの）
 - ・ 卒業後の年数経過により調査書の発行ができない場合は、「卒業証明書」と「成績証明書」を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。
 - ・ 高等学校卒業程度認定試験合格者（見込者）は「合格証明書」「合格成績証明書」「合格見込成績証明書」のいずれかを提出してください（発行日より3か月以内のもの）。
 - ・ その他、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められる者（見込者）については、「修了（見込）証明書」と「成績証明書」を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。

※書類記載の氏名と現在の氏名とが異なる場合は、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください（発行日より3か月以内のもの）

※書類の記入にあたっては、必ず黒のボールペンを使用し間違いのないよう記入してください（フリクション等の消せるペンは使用不可）。

二次選考出願について

インターネットによる出願です。WEB 出願サイトにて出願内容を登録の上、入学試験検定料の納入を行ってください（pp. 22～23 参照）。

■ 入学試験検定料

- ・ 一次選考 10,000円
以下のいずれかの方法で検定料の納入を行ってください。
- ・ 振込依頼書【本学所定用紙】を使用して納入を行う場合
必要事項を記入し、銀行の窓口にて納入してください。納入後、B票（原本）を提出してください。
- ・ ATMやインターネットバンキングにて納入を行う場合
次の内容を間違いのないように入力してください。
 - 【振込先】三井住友銀行（0009） 京都支店（496）
 - 【預金種目】普通 【口座番号】5244231
 - 【口座名】学校法人佛教教育学園佛教大学入学検定口
ガク）ブツキョウキョウイクガクエンブツキョウダいがクニョウガクケンテイグチ
 - 【依頼人名】本人氏名（出願者カナ氏名）
 - 【検定料】10,000円※別途振込手数料は各自で負担してください。

《ATMをご利用の方》

振込時にATMから発行された「ご利用明細票」（コピー可）を提出してください。

その際、口座から直接振り込まれた方は、プライバシー保護のため、口座残高記載部分は黒く塗りつぶすなどしてください。

《インターネットバンキングをご利用の方》

webサイトやアプリの振込履歴から該当部分をプリントスクリーンまたはスクリーンショットでコピーし印刷、または振込明細照会ページを印刷したものを提出してください。

その際、その他の振込履歴や口座残高が記載された部分は黒く塗りつぶすなどしてください。

- 二次選考 25,000円
納入方法についてはpp. 22～23を参照してください。

■ 受 験 票

一次選考の受験票について

- 宛名ラベル記載の受験生住所へ送付します。届き次第、氏名（カナ・漢字）、受験学部学科を確認してください。誤りがあった場合は、入学部まで速やかに申し出てください。
- 合格発表日の3日前になっても届かない場合は、入学部まで問い合わせてください（土・日・祝を除く）。

二次選考の受験票について

受験ポータルサイト UCARO®よりご自身で、A4サイズ（縦向き）に印刷し、試験当日に持参してください。詳細はP. 24を参照してください。

■ 一次選考結果発表

結果発表：2025年9月26日（金）

- 掲示による結果発表は行いません。志願者各自で本学WEBサイトにて確認してください。
- 掲出期間は発表日を含め4日間、時間は発表日の10：00より最終日の16：00までです。
- 結果発表日に合格者には通知書および二次選考出願のご案内を、一次選考の受験票と同じ送付先に本人宛で発送します。なお、不合格者には通知書等の送付は行いません。
- 可否に関して電話等での問い合わせには一切応じません。

■ 二次選考結果発表・入学手続

結 果 発 表	入 学 手 続 締 切		
	学費一次納入	学費二次納入	WEB手続
2025年11月4日（火）	2025年11月13日（木） <締切日振込有効>	2025年11月20日（木） <締切日振込有効>	2025年11月20日（木） <17：00まで>

- 掲示による結果発表は行いません。志願者各自で受験ポータルサイト UCARO®にて確認してください（P. 25）。
- 合格者は合格通知書および振込用紙を受験ポータルサイト UCARO®にて印刷し、上記期日までに入学手続を完了してください。
- 可否に関して電話などでの問い合わせには一切応じません。

■ 入学前教育について

本入学試験合格者を対象に、入学前教育を実施します。

大学生生活の基礎知識や大学での学びに対する意識を高め、入学後の学修にスムーズに移行できることを目的としています。

詳細は合格後に案内します。

■ そ の 他

- 「入学試験共通の確認事項」（巻末）に、「出願および受験に関する注意事項」、「学費・諸費一覧表」、「受験生の個人情報取り扱いについて」、「佛教大学のアドミッション・ポリシー」を掲載していますので、熟読しておいてください。
- 出願後の志願学部学科等の変更は一切認めません。

出願資格について

出願資格（P. 1）の①(3)「学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込の者」の詳細は以下のとおりです。

- ①外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者および 2026 年 3 月 31 日までに修了見込の者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および 2026 年 3 月 31 日までに修了見込の者
- ③専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および 2026 年 3 月 31 日までに修了見込の者
- ④文部科学大臣の指定した者
- ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）および 2026 年 3 月 31 日までに合格見込の者
- ⑥学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学に入学するにあたり、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑦個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で 2026 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者

なお、⑦に該当する方を対象に、個別の入学資格審査を実施します。

入学資格審査を希望する方は、申請書類を本学 WEB サイトからダウンロードし下記申請期間内に手続きしてください。

入学資格審査申請期間:2025年9月1日(月)～ 10月31日(金)〈消印有効〉

※入学資格審査の結果は2025年12月末までに通知します。よって認定を受けた方の出願は、2026年2月以降に実施の入学試験から可能となります(2025年10月実施の入学試験への出願はできません)。

二次選考の出願について

二次選考はインターネットによる出願です。出願期間内に、各自で WEB 出願サイトへアクセスし、出願を行ってください。

出願には、受験ポータルサイト UCARO®の会員登録が必要です (P. 26)。

■ 利用上の注意

- ① インターネット環境があればどこからでも 24 時間アクセス可能です (出願期間開始日 9:00 から出願期間最終日 22:00 まで)。スマートフォン・タブレットからも出願できます。
- ② 動作環境を確認のうえ、操作手順に従って操作してください。
- ③ WEB 出願サイトにて登録しただけでは正式な出願となりません。入学試験検定料を出願期間内に納入し、初めて正式な出願となります。
- ④ 志望学科などを誤って登録した場合、**入学試験検定料の納入および出願書類の送付前**であれば、登録内容を変更することが可能です。登録内容を変更する場合は、WEB 出願サイトの「ログイン」ボタン (トップ画面右上) よりログインし、出願一覧より対象の出願情報を選択してください。
- ⑤ 登録したデータは、出願期間内は保持されますが、**期限までに入学試験検定料の納入がない場合**は無効となります。
- ⑥ 氏名等を入力する際、JIS 第 2 水準までの文字を使用してください。それ以外の文字は、代替の文字 (代替の文字がない場合はカタカナ) を使用してください。
- ⑦ WEB 出願のサイト上の「Q & A」をあわせて確認してください。

■ 出願手続について

1. WEB 出願サイトへアクセス

WEB 出願サイトには、以下の URL または右記の QR コードよりアクセスしてください。

<https://prod.shutsugan.ucaro.jp/bukkyo/top>

※ 9 月末より公開予定

※ 出願までに受験ポータルサイト UCARO®の会員登録を済ませてください (P. 26 参照)。



2. 出願登録

- (1) 該当する入学試験制度の「出願する」ボタンより手続を行ってください。
- (2) 一次選考の合格通知に同封のパスワードを入力してください。
- (3) 志望情報を入力してください。
志望する学部・学科等を選択してください。
- (4) 個人情報を入力してください。
 - 各項目を正しく入力してください。氏名や住所に間違いがあると、入学手続書類等がお届けできません。
 - 連絡先は不備等確認のために連絡する場合、つながりやすい情報を入力してください。
※ アドレスの入力間違いやドメイン指定受信設定等をしている場合は受信できませんので注意してください。
- (5) 出願内容を確認してください。
 - 入力した志望情報と個人情報について、確認してください。
※ 入学試験検定料納入後は、内容の変更はできませんので注意してください。
- (6) 写真アップロード
 - ① 出願写真アップロード画面にある「出願写真に関する注意事項」を読み、[ファイルを選択する] ボタンを押してパソコンやスマートフォンの端末に保存されている写真データ (ファイル形式: JPEG) を選択してください。選択後、[写真の加工に進む] ボタンを押してください。

- ②画像位置の移動や、回転、拡大・縮小、明るさの調整などができます。画面の指示に従って操作し、[切り抜く] ボタンを押してください。
- ③最後に確認事項をよく読み、すべてにチェックを入れたら、[出願写真として提出する] ボタンを押してください。

※以下のような不適当な写真は受付できませんので注意してください。



(その他、マスクの着用や眼鏡の反射等、本人確認ができない写真は使用できません。)

- (7) 検定料を確認し、納入方法を選択してください。
- コンビニエンスストア・ATM・ネットバンキング・クレジットカードよりいずれかを選択してください。

コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート)
金融機関ATM【Pay-easy】
ネットバンキング
クレジットカード (VISA・Mastercard・JCB・AMERICAN EXPRESS・DinersClub)

- (8) 出願登録の完了
- 画面上に表示された出願番号や決済に必要な番号については、必ずメモをするか画面を印刷してください。
- ※出願内容、決済に必要な番号を後で確認する場合には必要です。
- ※決済に必要な番号については、実際の画面で確認してください (ネットバンキング・クレジットカードでの納入の場合は、出願番号のみ控えてください)。

出願番号	
お客様番号	
オンライン決済番号	
確認番号	
収納機関番号 <small>(金融機関ATM【ペイジー】のみ必要)</small>	58021

3. 入学試験検定料の納入

2. (7) にて選択した納入方法に従って入学試験検定料の納入を行ってください。
- ※登録された出願データは入学試験検定料の納入期限内は保持されますが、納入がないまま期限を過ぎると無効になります。

■入学試験検定料納入手数料について

入学試験検定料の他に、1,500 円の納入手数料が必要です。

4. 出願手続の完了

1～3の各項目について手続を行うことで、出願手続の完了となります。

5. その他

■出願内容の確認方法について (出願登録完了後)

WEB 出願サイトの「ログイン」ボタン (トップ画面右上) よりログインし、出願一覧より対象の出願情報を選択してください。

受験票の印刷・受験番号照会

■ 二次選考の受験票の準備について

- ・ 受験票は、受験ポータルサイト UCARO にて通知します。(本学から紙受験票の送付はありません。)
- ・ 各自で印刷したうえで、試験会場に持参してください。
- ・ **書き込みのある受験票を持参した場合、不正行為となる可能性があります。**
- ・ 受験票は、**試験日の約1週間前より**印刷可能です。
- ・ 受験票の内容に誤りがある場合は、速やかに入学部までご連絡ください。

■ 受験票印刷方法

- ① 下記 URL を検索もしくは右記 QR コードを読み取り、表示される UCARO のトップページよりログインしてください。

URL : <https://www.ucaro.net/>



- ② マイページの受験一覧を選択してください。
- ③ 「受験一覧」から、受験する入学試験制度を選択し、「受験票・受験番号照会」を選択してください。
- ④ 「受験票を印刷する」を選択すると受験票PDFファイルが表示されますので、印刷してください。
 - ・ A4サイズのコピー用紙にタテ方向・原寸大で印刷してください。
 - ・ カラー・白黒は問いません。
 - ・ 自宅にプリンターがない場合は、コンビニエンスストア等の印刷サービスを利用してください。
 - ・ 印刷した受験票(裏面含む)には一切の書き込みを禁止します。書き込みのある受験票を持参した場合、不正行為となる可能性があります。

①



②



③



④



入学試験結果の照会

一次選考の結果発表は、本学 WEB サイトにて合格者の受験番号を掲出する方法で行います。パソコン・スマートフォン等から確認してください（P. 20）。

二次選考の結果発表は、**結果発表日の 10:00** から受験ポータルサイト UCARO®にて行います。インターネットに接続可能なパソコン・スマートフォン・タブレット等から確認してください。

■二次選考合否照会の手順

- ① 下記 URL を検索もしくは右記 QR コードを読み取り、表示される UCARO® のトップページよりログインしてください。

URL : <https://www.ucaro.net/>



- ② マイページの受験一覧を選択してください。
- ③ 受験一覧の「合否照会」を選択してください。
- ④ 結果が表示されます。
- ⑤ 合否照会画面の「合格通知書を印刷する」を選択すると合格通知書 PDF ファイルが表示されますので、必ず印刷し、手元に保管してください。
- ⑥ 合否照会画面の「振込用紙を印刷する」を選択すると振込用紙 PDF ファイルが表示されますので、必要に応じて印刷し、ご利用ください。



操作方法については P. 26 に記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

本学への電話による結果の確認、操作方法の問い合わせなどについては一切応じません。

受験ポータルサイト UCARO®の「誤操作」・「見間違い」等を理由としたトラブル等については一切応じません。

■利用上の注意

- ① 合格通知書ならびに振込用紙の印刷について、自宅で印刷できない場合、コンビニや出身高校等で印刷してください。
- ② 結果発表直後は、アクセスが集中するため画面表示が遅いことがあります。その場合はしばらく時間を置いてから再度行ってください。
- ③ 合否結果は 2026 年 3 月 31 日 23:00 まで照会可能です。

受験ポータルサイトUCARO®について

UCARO®とはあなたの出願・受験番号・合否・入学手続など大学入試に関する情報を集約し、「大学」と「受験生」をつなぐ共通プラットフォームです。

UCARO®のID・パスワードさえあれば、出願や受験番号照会、受験票印刷、合否照会、合格通知書・必要書類の印刷、入学手続をインターネット上で簡単に行えます。また、大学からのメッセージを受け取ったり、出願や手続に関するスケジュールを確認することもできます。**出願の際には会員登録（無料）が必須です。**



推奨環境

[OS] iOS 15 以上 / Android 12 以上
[ブラウザ] 端末搭載の標準ブラウザ

- ※上記以外の利用環境ではうまく機能しない可能性があります。
- ※パソコンでの閲覧時についてはスマートフォンと同内容のサイトが表示されます。また、一部のブラウザ、バージョンでは、表示が崩れる場合があります。
- ※フィーチャーフォン（ガラケー）には対応していません。
- ※JavaScriptを使用しているページがある為、ブラウザのJavaScriptを「有効」にしてください。

～佛教大学ではUCARO®を通じて以下の手続きや確認を行うことができます～

出 願	出願登録や入学試験検定料の入金状況など、UCARO®で出願内容を確認できます。
受験番号照会	UCARO®で受験番号を確認できます。
受験票の印刷	UCARO®から各自、印刷してください。印刷方法はP. 24を参照してください。
合 否 照 会	UCARO®のマイページから合否の確認ができます。
合格通知書・ 必要書類の印刷	UCARO®から各自、印刷してください。印刷方法はP. 25を参照してください。
入 学 手 続	入学手続に必要な情報の登録が簡単にできます。

佛教大学のインターネット出願の業務は、UCARO®を運営する株式会社ODKソリューションズに委託しています。

受託業者についても、個人情報の安全管理については、佛教大学と同様の安全管理を徹底します。

UCARO® お問い合わせ窓口：03-6634-6494

[受付期間・時間] 10：00～18：00

※4月10日から8月31日までの13：00～14：00は受付時間外になります。

※8月31日までの土曜・日曜・祝日、および年末年始（12月30日～1月3日）は受け付けていません。



↑今すぐ登録

出願までに必ず熟読してください

入学試験共通の確認事項

- 出願および受験に関する注意事項
- 受験上の配慮について
- 近畿圏外からの入学支援奨学金〈給付型〉
- 学費・諸費一覧表
- 高等教育修学支援新制度について
- 受験生の個人情報取り扱いについて
- 佛教大学のアドミッション・ポリシー

出願および受験に関する注意事項

■出願について

- ①不備のある出願書類、出願期間を過ぎて提出された出願書類は、一切受け付けません。
- ②提出された出願書類および納入された入学試験検定料は、理由の如何に関わらず返還いたしません。
- ③出願後の志望学科等の変更は、一切認めません。

■試験会場への入室

- ①試験開始の20分前までに指定の会場に入室してください。会場は当日、掲示にて指示します。
- ②遅刻者は各時間の試験開始後、試験室に20分以上遅刻して入室した場合は受験できません。
- ③受験番号が机の上に表示してありますので、確認のうえ、着席してください。
- ④前日の試験会場の下見は可能です。ただし建物内に立ち入ることはできません。
- ⑤自家用車・バイクでの来場は禁止します。また、周辺道路や近隣施設等への無断駐車はおやめください。

■持ち物・筆記用具

- ①受験票（各自でA4用紙に印刷したもの）
- ②使用できる筆記用具等は、黒鉛筆およびシャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り・時計（時計機能だけのもの・スマートウォッチ不可）のみです。
- ③試験中は、携帯電話などの電子機器類や音の出る機器は電源を切り、カバンの中に片づけてください。
- ④試験会場内に大きな荷物を持ち込まないでください。
- ⑤試験会場には時計を設置していませんので、時計（時計機能だけのもの・スマートウォッチ不可）を持参してください。

■試験時の注意

- ①受験票は机の上に置いてください。
- ②試験時間中の途中退室はできません。
- ③ブランド名や製品名、ロゴマークなどを除き、英語や地図等が印字された衣服や筆記具等を着用・使用しないでください。

■不正行為について

以下に該当する場合、不正行為となります。不正行為となった場合、その場で試験の中止と退場を命じ、それ以降の受験はできません。

なお、すでに受験した当該年度の入学試験もすべて無効とします。また、これらを含めて検定料は一切返還しません。

- 出願書類の偽造・虚偽記載をすること
- カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること
- 使用を禁じられた用具を使用すること
- 問題（冊子）を切り離すこと
- 試験時間中に問題冊子や解答用紙を外に持ち出すこと
- 監督者の指示に従わないこと
- 他の受験生の迷惑となる行為をすること
- その他、試験の公平性を損なう行為をすること

■健康管理について

健康管理を心がけてください。持病のある方は常備薬を用意し、体調不良の方は事前に医療機関にて受診をしてください。日常より、手洗い・うがいの励行、マスクの着用等、自己の健康管理に十分注意のうえ、受験に臨んでください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、受験者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮いただきます。ただし、病状により学校医やその他の医師において伝染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置は行いません。罹患された場合は、試験当日までに入学部へご連絡ください。

感染症等の影響により、必要な措置を講じる場合があります。受験の前に
本学 WEB サイトにて確認をお願いします。

■その他

- ①本学より緊急の連絡事項等がある場合は本学 WEB サイトへ掲載しますので、受験の前に確認するようにしてください。
- ②受験に際して京都市内のホテル等に宿泊を希望する場合は、各自で早めに予約してください（行楽シーズンは宿泊施設の確保が困難になる場合があります）。
- ③試験会場周辺での学生マンションの斡旋等は、本学とは関係がありません。これらによるトラブルには一切関知しませんので注意してください。

受験上の配慮について

佛教大学では、障害や病気等の理由により受験に際して配慮を希望する方に、申請に基づき受験上の配慮を行っています。配慮の基準や内容等は、大学入試センターの「受験上の配慮案内」を参考とし、配慮内容によっては試験地が京都（本学）会場のみとなります。

受験上の配慮（例）

点字解答／文字解答／注意事項の文書伝達／試験時間延長／座席位置／補助具の持込 等

受験上の配慮を希望する場合は、各入学試験出願開始日の原則 1 か月前までに、本学所定の「受験配慮申請書」を含む申請書類を以下の手順で入学部にお送りください。提出された申請書類をもとにヒアリングを行い、障害等の程度・種類により、適宜、受験上の配慮や入学後の修学についての事前面談等を調整します。

なお、すべての受験者が公平な条件のもと実施する入学試験において、個々の症状や状態等に応じた合理的配慮を提供するためには、個別具体的な検討の根拠として、医師の診断書等の根拠資料が必要です。そのため、可能な限り早い段階でお申し出ください（期限後のお申し出の場合、配慮内容が限定される場合や、調整が難しい場合があります）。

<受験上の配慮申請方法>

「**受験配慮申請書**」を含む申請書類を準備する

以下の書類を作成・準備してください（受験を検討されている段階でも構いません）。

- ①「**受験配慮申請書**」[本学所定様式] ※本学 WEB サイトからダウンロードしてください。

受験上の配慮申請は、原則として入試種別ごとに申請を受け付けます。



- ②根拠資料（求める配慮内容に対し整合性や客観性を裏付ける書類／いずれもコピー可）
- ・身体障害者手帳
 - ・医師の診断書（発行日より3か月以内のもの、具体的な症状や状態が記されているもの）
 - ・心理検査・発達検査の結果、所見等
- または上記に準ずるもの（これまでの教育機関における配慮事項等）
- ③大学入学共通テスト受験上の配慮事項に関する通知等（コピー） ※該当者のみ

申請書類を大学に提出（郵送）する

「受験配慮申請書在中」と記入し簡易書留（またはレターパックプラス）で郵送ください。
送付先：〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96 佛教大学入学部 宛

大学にて配慮内容の審議・決定

申請書類の到着後、本学から連絡し、ヒアリングのうえで対話に基づく合意形成ならびに配慮希望内容を確認します（申請しない場合はこの時点でお申し出ください）。
申請情報は、入学部ならびに志望学部や学生支援部署等の関連部署間で共有します。
申請書類、ヒアリングの内容を踏まえて、大学にて配慮内容を審議・決定します。

大学から「受験配慮決定通知」を受け取る

配慮内容の決定後、大学からお送りする「受験配慮決定通知」は出願書類となりますので、出願まで大切に保管してください（「受験配慮決定通知」は入試種別ごとに発行します）。

出願時に「受験配慮決定通知」を提出する

出願期間に、出願書類として「受験配慮決定通知」を提出してください。
出願時の「受験配慮決定通知」の提出をもって、最終の受験上の配慮希望とみなします。
上記の提出がない（意思確認が取れない）場合は通常受験となりますのでご注意ください。

受験する（試験当日）

「受験票」を持参し受験ください。「受験配慮決定通知」のコピーを提出する必要はありません。伝達事項が発生する場合がありますため、試験会場には試験開始30分前（通常20分前）を目安に余裕をもってお越しください。

その他

ご質問・ご相談は随時受け付けていますので、入学部までお問い合わせください。
なお、個人情報、「佛教大学個人情報保護に関する指針」に基づき取り扱い、申請内容に関わる情報（個人情報を除く）は、入学部や学生支援部署等の関連部署間で共有し、受験上の配慮や入学後の修学に関する配慮の検討や準備の目的で活用することがあります。
※出願後、不慮の事故等により「受験上の配慮」を希望する場合は、至急、入学部まで申し出てください。

近畿圏外からの入学支援奨学金〈給付型〉

日本国内に居住し、出身高等学校の所在地が近畿圏外（京都府・大阪府・滋賀県・兵庫県・奈良県・和歌山県以外）の者で、本学に入学した者〔編入学、転籍、大学院、別科（仏教専修）および留学生（1年次選抜・編入学選抜）を除く〕へ一律100,000円を給付する制度です。

また、通信制高等学校出身者および近畿圏内の高等学校出身で、本人が近畿圏外に居住している場合は、入学手続時における本人の居住地が住民票にて日本国内で近畿圏外であることが確認できる方も対象となります。
詳細は合格発表後に案内する『入学のしおり』にてご確認ください。

学費・諸費一覧表

[単位：円]

学部		仏教学部・文学部・ 歴史学部・社会学部・ 社会福祉学部	教育学部	保健医療技術学部・ 看護学部 ^{※3}			
費目	学 金	250,000	250,000	250,000			
※2 学 費	授 業 料	870,000	920,000	1,350,000			
	教 育 充 実 費	100,000	130,000	250,000			
諸 費	※1教育後援会費	20,000	20,000	20,000			
	※1学友会入会金	1,000	1,000	1,000			
	学 友 会 費	4,500	4,500	4,500			
合 計		1,245,500	1,325,500	1,875,500			
必要 な 納 入 額	学費一次納入額 (入学金)	250,000		250,000		250,000	
	学費二次納入額 (授業料・設備費・諸費)	分割納入の場合	一括納入の場合	分割納入の場合	一括納入の場合	分割納入の場合	一括納入の場合
	入学金+ 授業料・設備費・諸費	510,500	995,500	550,500	1,075,500	825,500	1,625,500
		760,500	1,245,500	800,500	1,325,500	1,075,500	1,875,500

※1 入学金、教育後援会費、学友会入会金は初年度のみ。

※2 本学では入学年度の納入金の負担を軽減するため、入学初年度の教育充実費を低額に設定しており、2年目以降の学費納入額は初年度と概ね均一になるように設定しています。

※3 看護学部の学費・諸費は保健医療技術学部準ずる予定です。

■ 「分割納入」は授業料・教育充実費の半額と、入学金・諸費全額の合計金額です。

■ 4年次に、学費・諸費のほかに同窓会入会金 5,000 円と同窓会終身会費 25,000 円が必要です。

■ 教育実習および介護等体験、社会福祉実習等に要する費用、英米学科の留学に関する費用等は別途必要です。また、保健医療技術学部・看護学部では実習に伴う交通費・宿泊費・食費等の費用を必要とする場合があります。

■ 浄土宗教師資格取得の場合は、1年間、道場での生活となります。道場入行時に食費等入行費用 550,000 円(分割納入可)、教科書・法具・実習用具代約 80,000 円が必要です。その他随時徴収する場合があります。

■ 卒業時には教員免許状申請料、各種課程受講料等の費用が必要な場合があります。

高等教育修学支援新制度について

「高等教育の修学支援新制度」では、授業料・入学金の減免と、給付奨学金により、意欲のある学生の「学び」を支援します。住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯・多子世帯および理工農系の中間層の学生に対し、給付奨学金の支給と合わせて授業料の一部および入学金を減免する制度です。その他に支援対象となる要件がいくつかありますので、詳細は日本学生支援機構のWEBサイトをご確認ください。なお、入学手続き時の給付は行われなため、入学金・学費・諸費については、一旦全額納入が必要となります。入学後に減免相当額を還付することになりますのでご了承ください。

受験生の個人情報の取り扱いについて

佛教大学では、入学試験の出願に際して志願者から提供された個人情報については、個人情報保護に関する法令等を遵守し、「佛教大学個人情報保護に関する指針」に基づいて、厳重に管理し、以下の業務に利用いたします。

受験票の送付、試験の実施、合否判定、結果通知、入学手続処理
下宿の紹介・斡旋、保険の紹介、入学前教育、統計資料の作成

また、これらの業務について、その一部を業者に委託することがあります。個人情報の預託にあたり、委託先を厳正に選定し、必要な指導・監督などを行い、「佛教大学個人情報保護に関する指針」に従った方法により適切に取り扱うよう管理します。

佛教大学のアドミッション・ポリシー

■佛教大学のアドミッション・ポリシー

佛教大学は、建学の理念である仏教精神を基盤として、社会で活動するために必要な知識や素養、専攻する学問分野における専門的な知識・技能を身につけ、生涯にわたって学び続けながら周囲の人々と協力し、自己実現や社会貢献に向けて活動することのできる人材の養成を目的としています。

このような本学の人材養成の目的に共感し、各専門分野において強い関心と学ぼうとする確かな意欲をもち、他者と協調・協働することで、自己実現や社会貢献に向けて主体的に活動する意欲がある多様な人を受け入れます。

そのために各種の入試制度を用いて、高等学校等で修得した以下の点について評価を行い、それらを備えた人を受け入れることを基本方針とします。

(1)知識・技能

入学を希望する学部学科での学修に必要な基礎学力、専門教育に関連する教科に関する知識・技能及びそれらに応用する力

(2)思考力・判断力・表現力

修得した知識・技能を活用し、学部学科での学びにかかわる基礎的または一般的問題・質問に文章・口頭で答えることができる力

(3)主体的に取り組む態度

学部学科の人材養成の目的にふさわしい学修への意欲・態度と、学力だけでは見出すことのできない能力や意欲、将来の可能性

<仏教学部>

仏教学部は、仏教および仏教に関連する領域についての基礎知識と専門知識を修得し、それらの知識を活用して問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析して、解決策を論理的に表現することを通じて、仏教の魅力を発信することや、現代社会が抱える諸問題に対応できる人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 人間の精神・歴史・芸術・社会・文化などについて、高等学校等で学ぶ基礎的な知識と分析力を備えている人【知識・技能】
- ② 仏教（インド・チベット・中国・日本など）および仏教に関連する領域（歴史・文学・美術など）に対して、強い関心と探究心を持ち、そのことを表現できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 仏教の魅力を発信することや、仏教の考え方によって、現代社会が抱える諸問題に、主体的に対応する意欲を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 浄土宗教師（浄土宗僧侶）となって浄土宗の教えを受け継ぎ、さらに広めていこうという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、仏教と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語（英語）」「公民」など、仏教学部での専門的な学修に必要な基礎学力を身につけるための教科についても幅広く学習していることを望みます。

●仏教学科

仏教学科は、仏教および仏教に関連する領域についての基礎知識と専門知識を修得し、それらの知識を活用して問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析して、解決策を論理的に表現することを通じて、仏教の魅力を発信することや、現代社会が抱える諸問題に対応できる人材を養成することを目的としています。そのため、次のような学生を求めています。

- ① 人間の精神・歴史・芸術・社会・文化などについて、高等学校等で学ぶ基礎的な知識と分析力を備えている人【知識・技能】
- ② 仏教（インド・チベット・中国・日本など）および仏教に関連する領域（歴史・文学・美術など）に対して、強い関心と探究心を持ち、そのことを表現できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 仏教の魅力を発信することや、仏教の考え方によって、現代社会が抱える諸問題に、主体的に対応する意欲を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 浄土宗教師（浄土宗僧侶）となって浄土宗の教えを受け継ぎ、さらに広めていこうという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、仏教と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語（英語）」「公民」など、仏教学科での専門的な学修に必要な基礎学力を身につけるための教科についても幅広く学習していることを望みます。

<文学部>

大学の人材養成の目的その他の教育研究上の目的を踏まえ、文学、文化および言語に関連する領域にかかわる知識を活用して、自己および他者を見つめて相互理解を形成し、さらに世界の多様性を踏まえて社会で活躍できる人材を養成するとともに、そのために必要な教育研究活動を展開し、それらを通じて社会に貢献していくことを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 興味をもった事柄や分野についての本を読み、その内容についてまとめることができる人【知識・技能】
- ② 日本語、中国語、英語などの言語について学ぶための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 日本や外国の文学や思想、文化について学ぶための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ④ 外国語を活用して仕事をしたり、国際交流などの場において活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 日本と外国の相互理解のための知識や能力を身につけたいと考えている人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「国語」「外国語（英語）」、その他の外国語を中心としつつ、日本の文化・歴史に関する教科、あるいは中国語圏の文化や歴史にかかわる教科、あるいは英語圏の文化や歴史にかかわる教科について幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢、あるいは異文化理解や異文化交流に積極的な姿勢を有していることを望みます。

●日本文学科

大学及び文学部の人材養成の目的その他の教育研究上の目的を踏まえ、日本の文学、文化および言語に関連する領域にかかわる知識を活用して、日本の文化と異文化を相対的に把握し、国際社会の中で活躍できる人材を養成するとともに、そのために必要な教育研究活動を展開し、それらを通じて社会に貢献していくことを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 日本の文学・文化や言語について基礎的な知識を有する人【知識・技能】
- ② 人間やその営みについて、さまざまな情報を理解し、批判的に考え、自分独自の意見を表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 言語や文化に関する知識や見解を社会のために役立たせる意欲を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 文芸創作の意欲があり、創造性の豊かな人【思考力・判断力・表現力】

そこで、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力にかかわる「国語」を中心としつつ、「外国語（英語）」や、日本の文化・歴史に関する科目も含め、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。

●中国学科

大学及び文学部の人材養成の目的その他の教育研究上の目的を踏まえ、中国語圏に関する文学、文化および言語に関連する領域にかかわる知識を活用して、自己および他者を見つめて相互理解を形成し、さらに世界の多様性を踏まえて社会で活躍できる人材を養成するとともに、そのために必要な教育研究活動を展開し、それらを通じて社会に貢献していくことを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 高等学校等で学ぶレベルの基礎的な国語力・外国語への理解力を備えている人【知識・技能】
- ② 中国語圏やアジアの言語や文化に関するさまざまな情報を理解し、批判的に考え、自分独自の意見を表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 中国語を通じたコミュニケーションおよび中国語の古典や現代の文献に興味を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 中国語や中国古典文の教育に興味をもち、中国語や漢文などを含む国語の教員として社会に貢献することを旨とする人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 海外で学ぶことや働くことを目標としている人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「国語」「外国語」を中心としつつ、中国語圏の文化や歴史にかかわる教科について幅広く学んでいることを望みます。また、異文化理解や異文化交流に積極的な姿勢を有していることを望みます。

●英米学科

大学及び文学部の人材養成の目的その他の教育研究上の目的を踏まえ、英語圏に関する文学、文化および言語に関連する領域にかかわる知識を活用して、国際交流に携わるとともに、現代社会を取り巻く諸問題と向き合い、英語を使ってその解決に積極的に取り組むことのできる人材を養成するとともに、そのために必要な教育研究活動を展開し、それらを通じて社会に貢献していくことを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 高等学校等で学ぶレベルの基礎的な英語力を備えている人【知識・技能】
- ② 英語圏の言語や文化に関するさまざまな情報を理解し、批判的に考え、自分独自の意見を表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 英語を通じた東西文化の交流に興味を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 英語教育に興味をもち、英語の教員として社会に貢献することを目指す人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 海外で学ぶことや働くことを目標としている人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「国語」「外国語（英語）」を中心としつつ、英語圏の文化や歴史にかかわる教科について幅広く学んでいることを望みます。また、異文化理解や異文化交流に積極的な姿勢を有していることを望みます。

<歴史学部>

歴史学部では、歴史の学びによって思考力・判断力・表現力が涵養された人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 世界史・日本史・地理など地理歴史科目のいずれかについてより広範な知識を有している人【知識・技能】
- ② 自分の考えを言葉や文章で表現できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 歴史や文化について関心のある人【主体的に取り組む態度】
- ④ 大学での学修を活かして、社会に積極的にかかわろうとする人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「地理歴史科目」を中心としつつ、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

●歴史学科

歴史学科では、歴史的な文献史料の学びによって思考力・判断力・表現力が涵養された人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 世界史や日本史いずれかについて、高等学校等における学習内容を十分に理解できている人【知識・技能】
- ② 日本史・東洋史・西洋史のいずれかについて、強い関心を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 自分の考えを言葉や文章で表現できる人【主体的に取り組む態度】
- ④ 歴史の学修を通じて高度な思考力・判断力・表現力を身につけたい人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 学修成果を活かして、社会に積極的にかかわろうとする人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「地理歴史科目（歴史総合・日本史探究・世界史探究）」を中心としつつ、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

●歴史文化学科

歴史文化学科では、歴史的な文化事象の学びによって思考力・判断力・表現力が涵養された人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 世界史・日本史・地理など地理歴史科目のいずれかについて、高等学校等における学習内容を十分に理解できている人【知識・技能】
- ② 歴史的な文化事象について、強い関心を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 自分の考えを言葉や文章で表現できる人【主体的に取り組む態度】
- ④ 歴史的な文化事象に関する学修を通じて、高度な思考力・判断力・表現力を身につけたい人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 学修成果を活かして、社会に積極的にかかわろうとする人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「地理歴史科目（歴史総合・地理総合・地理探究・日本史探究・世界史探究）」を中心としつつ、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

<教育学部>

教育学部は教育・保育・心理職の重要性を自覚し、「理論と実践の往還」のもとで構築した知識・技能を活用して、協働的に子ども・人の健やかな発達成長や心にかかわる諸課題の解決・支援と新たな創造に取り組むことができる人材を養成します。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 教育学・臨床心理学を学修するに必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 常に社会（特に学校・園や臨床心理学の必要とされる現場）に関する問題意識を持ち、他者と協力して諸課題の解決や今後のあり方を論理的に考えようとする人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 将来、教育・保育・心理職として活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ④ 自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ努力を惜しまない人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、学習指導要領にある「各学科に共通する各教科」（例えば国語や芸術、外国語など）を幅広く学習するとともに、得意教科を持つことを望みます。

●教育学科

教育学科は教育職の重要性を自覚し、「理論と実践の往還」のもとで構築した知識・技能を活用して、協働的に子ども・人の健やかな発達成長にかかわる諸課題の解決と新たな創造に取り組むことができる人材を養成します。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 教育学を学修するに必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 常に社会（特に学校）に関する問題意識を持ち、他者と協力して諸課題の解決や今後のあり方を論理的に考えようとする人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 将来、教育職として活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ④ 自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ努力を惜しまない人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、学習指導要領にある「各学科に共通する各教科」（例えば国語や芸術、外国語など）を幅広く学習するとともに、得意教科を持つことを望みます。

●幼児教育学科

幼児教育学科は教育・保育職の重要性を自覚し、「理論と実践の往還」のもとで構築した知識・技能を活用して、協働的に子どもの健やかな発達成長にかかわる諸課題の解決と新たな創造に取り組むことができる人材を養成します。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 幼児教育学を学修するに必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 常に社会（特に園）に関する問題意識を持ち、他者と協力して諸課題の解決や今後のあり方を論理的に考えようとする人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 将来、教育・保育職として活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ④ 自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ努力を惜しまない人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、学習指導要領にある「各学科に共通する各教科」（例えば国語や芸術、外国語など）を幅広く学習するとともに、得意教科を持つことを望みます。

●臨床心理学科

臨床心理学科は心理職の重要性を自覚し、「理論と実践の往還」のもとで構築した知識・技能を活用して、協働的に心にかかわる諸課題の解決・支援と新たな創造に取り組むことができる人材を養成します。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 臨床心理学を学修するに必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 常に社会（特に臨床心理学の必要とされる現場）に関する問題意識を持ち、他者と協力して諸課題の解決や今後のあり方を論理的に考えようとする人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 将来、心理職として活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ④ 自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ努力を惜しまない人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、学習指導要領にある「各学科に共通する各教科」（例えば国語や芸術、外国語など）を幅広く学習するとともに、得意教科を持つことを望みます。

<社会学部>

社会学部では、社会学や公共政策学をはじめとする専門領域の学びを通して、現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性と実行力を持ち、主体的に共生社会の形成に貢献できる人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 社会学、公共政策学と関連分野を学ぶ基礎となる学力を有する人【知識・技能】
- ② 他者の考えを理解するとともに尊重し、共に行動できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 学習や体験を通じて社会に対する問題意識を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 現代社会の諸課題に積極的に取り組む意欲がある人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力にかかわる「国語」「外国語（英語）」を中心としつつ、「数学」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。

●現代社会学科

現代社会学科では、社会学をはじめとする専門領域の学びを通して、現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性と実行力を持ち、主体的に共生社会の形成に貢献できる人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 社会学を学ぶ基礎となる学力を有する人【知識・技能】
- ② 他者の考えを理解するとともに尊重し、共に行動できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 学習や体験を通じて社会に対する問題意識を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 現代社会の諸課題に積極的に取り組む意欲がある人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力にかかわる「国語」「外国語（英語）」を中心としつつ、「数学」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。

●公共政策学科

公共政策学科では、公共政策学をはじめとする専門領域の学びを通して、現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性と実行力を持ち、主体的に共生社会の形成に貢献できる人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 公共政策学を学ぶ基礎となる学力を有する人【知識・技能】
- ② 他者の考えを理解するとともに尊重し、共に行動できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 学習や体験を通じて社会に対する問題意識を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 現代社会の諸課題に積極的に取り組む意欲がある人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力にかかわる「国語」「外国語（英語）」を中心としつつ、「数学」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。

<社会福祉学部>

社会福祉学部では、さまざまな人々が安心して一緒に暮らせる社会を目指して学びを深めます。他の人の考え方を理解したり、一人ひとりが持つ権利について考えたりする力を育てます。また、自分の大切な価値観を守りながら、違う考えを持つ人々とも話し合い、社会の問題を解決する新しいアイデアを生み出す力を身につけます。社会福祉学部では、こうした考え方や目標に共感し、専門的な分野に興味を持って積極的に学ぼうとする人や、他の人と協力しながら自分の夢や社会に役立つことを実現しようとする人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 必要な情報を適切に取り取り複数の点から物事を捉えられる人【知識・技能】
- ② 憲法に定められている国民の権利について理解している人【知識・技能】
- ③ 社会が発展してきた過程を理解している人【知識・技能】
- ④ 自分も他者も大切にするための手段や方法を考えられる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 自分とは違う意見や視点に関心をもって他者と接することができる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑥ 世の中の常識に疑問や違和感をもったことがある人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、社会福祉と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語(英語)」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

●社会福祉学科

社会福祉学科では、さまざまな人々が安心して一緒に暮らせる社会を目指して学びを深めます。他の人の考え方を理解したり、一人ひとりが持つ権利について考えたりする力を育てます。また、自分の大切な価値観を守りながら、違う考えを持つ人々とも話し合い、社会の問題を解決する新しいアイデアを生み出す力を身につけます。社会福祉学科では、こうした考え方や目標に共感し、専門的な分野に興味を持って積極的に学ぼうとする人や、他の人と協力しながら自分の夢や社会に役立つことを実現しようとする人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 必要な情報を適切に取り取り複数の点から物事を捉えられる人【知識・技能】
- ② 憲法に定められている国民の権利について理解している人【知識・技能】
- ③ 社会が発展してきた過程を理解している人【知識・技能】
- ④ 自分も他者も大切にするための手段や方法を考えられる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 自分とは違う意見や視点に関心をもって他者と接することができる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑥ 世の中の常識に疑問や違和感をもったことがある人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、社会福祉と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語(英語)」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

<保健医療技術学部>

保健医療技術学部では、高い倫理観と他者への思いやり、円滑なコミュニケーション能力を有し、医療・福祉および健康支援に関する専門的な知識と技術を修得することを教育の基盤としています。また、生涯にわたって自己研鑽を続けながら、自己実現や社会貢献、人々の健康や生活の質の向上に主体的に取り組むことのできる人材の育成を目的としています。このような本学部の理念に共感し、各専門分野への強い関心と向学心を持ち、他者と協調・協働しながら主体的に学び、将来にわたって社会に貢献しようとする多様な人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 専門科目を学修するために必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 直面する問題に立ち向かい、問題解決のために効果的なあり方を考え、行動することができる思考力・創造性と判断力を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 相手に伝わるように内容を十分に咀嚼し、分かりやすい言葉で話せる表現力を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ④ 専門領域のプロフェッショナルを目指す高い目的意識をもち、真摯な取り組みのできる人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 社会や地域に貢献したいという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

専門分野を学修するために必要な基礎学力（読解力、表現力、論理的思考力）があり、目指す専門領域に強い興味をもち常に学び続ける生涯学修の意欲を有する人を望みます。

●理学療法学科

理学療法学科では、専攻する学問分野における専門的な知識・技能を身につけ、生涯にわたって学び続けながら、自己実現や社会貢献に向けて活動することのできる人材の養成を目的としています。このような本学科の人材養成の目的に共感し、理学療法の専門分野において強い関心と学ぼうとする確かな意欲をもち、主体的に活動する人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 理学療法を学修するために必要な基礎学力を有している人【知識・技能】
- ② 保健・医療の現場で直面する課題に関心を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 理学療法士を目指す高い目的意識をもち、真摯な取り組みのできる人【主体的に取り組む態度】
- ④ 理学療法士として社会や地域に貢献したいという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

専門的な学修に必要な基礎学力（読解力、表現力、論理的思考力）を幅広く身につけていることを望みます。

●作業療法学科

作業療法学科では、高い倫理観と他者への思いやりや円滑なコミュニケーション能力を有し、人々の健康に貢献できる作業療法士を育成します。また、保健・医療に関する知識と専門職としての技術をもち、生涯にわたって自己研鑽を続ける力を備えるような人材育成を目的としています。このような本学科の目的に共感し、作業療法に強い関心と学ぼうとする確かな意欲をもち、他者と協調・協働することで、自己実現や社会貢献に向けて主体的に活動する意欲がある多様な人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 作業療法を学修するために必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 問題解決のために効果的なあり方を考え、行動することができる思考力・創造性と判断力を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 相手に伝わるように話せる表現力を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ④ 他者の話をよく聞き、他者の話から学ぶ協調的姿勢を有する人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 作業療法士として社会や地域に貢献したいという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

作業療法を学修するために必要な基礎学力（読解力、表現力、論理的思考力）があり、作業療法に興味をもち学び続ける意欲を有する人を望みます。

<看護学部>

看護学部では、豊かな人間性と倫理観を基盤に看護職として人を思いやり共感できる人材の養成を目指しています。あわせて、看護学の学識と基礎的な看護実践能力、対象を理解し支援するためのコミュニケーション力、多職種と協働する力、自己研鑽する力、研究的思考やグローバルな視点を備え、地域社会や人々の健康に貢献できる人材の養成を目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 看護学を学ぶために必要な基礎学力を備え、学習を継続する力を有する人【知識・技能】
- ② 看護職に求められるスキルを高め、地域で生活する人々の健康に貢献したいという意欲がある人【知識・技能】
- ③ 看護学を学び、豊かな感性と論理的に考え判断する力、情報を活用する力を身につけようと努力できる人【思考力・判断力・表現力】
- ④ 他者の考えを知るとともに、自分の考えを自分の言葉で表現できる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 人への深い関心を持ち、人の可能性を信じ、自分も他者も大切にできる人【主体的に取り組む態度】
- ⑥ 他者を思いやることができ、多様な人と主体的にコミュニケーションをとることができる人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習は、コミュニケーション能力にかかわる「国語」「外国語（英語）」を中心に、「数学」「理科」なども含め、専門的な学習に必要な基礎的の学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

また、人に関心を持ち、人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。

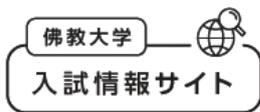
●看護学科

看護学科では、豊かな人間性と倫理観を基盤に看護職として人を思いやり共感できる人材の養成を目指しています。あわせて、看護学の学識と基礎的な看護実践能力、対象を理解し支援するためのコミュニケーション力、多職種と協働する力、自己研鑽する力、研究的思考やグローバルな視点を備え、地域社会や人々の健康に貢献できる人材の養成を目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 看護学を学ぶために必要な基礎学力を備え、学習を継続する力を有する人【知識・技能】
- ② 看護職に求められるスキルを高め、地域で生活する人々の健康に貢献したいという意欲がある人【知識・技能】
- ③ 看護学を学び、豊かな感性と論理的に考え判断する力、情報を活用する力を身につけようと努力できる人【思考力・判断力・表現力】
- ④ 他者の考えを知るとともに、自分の考えを自分の言葉で表現できる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 人への深い関心を持ち、人の可能性を信じ、自分も他者も大切にできる人【主体的に取り組む態度】
- ⑥ 他者を思いやることができ、多様な人と主体的にコミュニケーションをとることができる人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習は、コミュニケーション能力にかかわる「国語」「外国語（英語）」を中心に、「数学」「理科」なども含め、専門的な学習に必要な基礎的の学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

また、人に関心を持ち、人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。



<https://www.bukkyo-u.ac.jp/admission/>

入試やオープンキャンパスに関する情報をはじめ、
学部・学科、キャンパスライフなど受験生の皆さんへ向けた情報が満載!



佛教大学 入学部
公式Instagram

キャンパスライフやキャンパスの風景など、
本学の魅力をお伝えします。ぜひフォローしてください!



佛教大学 入学部
公式X

入試情報・オープンキャンパス等の情報発信を
していきます。ぜひフォローしてください!



情報配信中!
LINE ID @bu_nyugaku

LINEの「友達追加」から
「ID検索」を選択して、登録してください。
右のQRコードからも登録できます。
オープンキャンパスや入試対策講座などの
受験生向けのイベント情報を配信しています。



【問合せ先】

佛教大学入学部入学課

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96 (紫野キャンパス鷹陵館 1 階)

TEL : 075-366-5550 (入学部直通) 【事務取扱時間 : 平日 9:00 ~ 17:00】